

2021年度 川内原子力防災訓練（1/18）における課題対応等について（案）

1. はじめに

2022年1月18日に実施した川内原子力防災訓練時において、振り返り等で抽出された意見を踏まえ、以下の改善事項を抽出した。

抽出された課題に対し、それぞれ区分を設定し、改善に向けた取組みを検討する。

【抽出された内容】

No	抽出された課題 等	区分	改善事項 等
1	ERCとの10条確認会議及び15条認定会議時において、事業者の組織を代表する者が、必要な情報を確実に速やかに情報発信できるように、説明する内容を簡潔に整理できることが必要。	10条・15条 会議	■10条確認会議及び15条認定会議時の説明内容の整理
ー	その他主な改善内容	その他	①発話者へ提供する情報の改善 ②ERCへの情報提供の更なる充実

抽出された課題等に対する更なる改善事項の対策については、来年度の社内訓練に向け、今後習熟訓練等を実施し、対応者の対応能力向上を図る。

2. 検討内容

No1：10条確認会議及び15条認定会議時の説明内容の整理

（原因・要因）

- ・ERCとの10条確認会議及び15条認定会議時においては、事業者の組織を代表する者（会議の発話者）より、特定事象の判断時刻を含む発生事象、事象進展の予測、事故収束対応などの内容を簡潔に説明する必要がある。

継続して事象が進展する中で情報の整理を行う必要があるが、発話者への伝達はメモや口頭で内容を伝えている状況であり、錯綜している状況下などにおいては、言い忘れや誤った情報を伝えてしまう恐れがあった。

（課題）

- ・ERCとの10条確認会議及び15条認定会議時において、事業者の組織を代表する者が、必要な情報を確実に速やかに情報発信できるように、説明する内容を簡潔に整理できることが必要。

（対策）

- ・ERCとの10条確認会議及び15条認定会議時において、説明すべき内容（発生事象、事象進展の予測、収束へ向けた対応状況など）について、会議時の説明内容を整理したフォーマットを作成し、活用する。

→整理表を作成することにより、ERCへの正確な説明に寄与できる。

→伝えるべき内容を整理しておくことで対応者の経験等に頼ることなく、新規対応者における対応に寄与できる。

区分：「その他」主な改善内容等

No	改善内容 等	対策 等	備 考
①	<p>発話者へ提供する情報の改善 ERC 対応ブースの発話者の情報入手手段として、発電所の発話内容を ERC 対応班が聞き取ってメモした連絡メモを活用しているが、事象発生時刻等の有用な情報が記載されていない場面があった。</p>	<p>■ E R C への説明性の向上のため、発電所からの入手情報として連絡メモに記載すべき情報（対象号機、事象発生時刻等）を明確にするため、様式を見直す。</p>	<p>NRA 助言 社内振返り</p>
②	<p>ERCへの状況説明の更なる充実 重要局面等において、口頭で戦略説明は実施しているものの断片的であり、ERCへ伝わりづらいことからCOP2を有効的に活用することで全体的な戦略説明に努める。 また、プラント状況や対応手順を口頭で説明する場面が見られたため、備付資料や連絡メモを活用した視覚的に分かりやすい説明を実施した方が良い。</p>	<p>■ 事象進展に合わせて、都度COP2による説明を心掛けるよう周知する。また、重要局面において全体戦略を把握するためにCOP2を有効的に活用するよう関係者へ周知する。</p> <p>■ 備付資料や連絡メモ等を活用した視覚的にも分かりやすい説明を行うよう関係者へ周知する。</p>	<p>NRA 助言 他電力評価</p>

以 上